

### 揖斐浄化センター竣工式

4月3日(火)、揖斐川町三輪地内に「揖斐浄化センター」が完成しました。この施設は、揖斐川町特定環境保全部から出る生活排水、し尿などの浄化処理を行います。

式典では、町長が「揖斐川上流に住む私たちには美しい自然やきれいな環境を守り森の恵みを海へと運び、清流揖斐川を次世代に継承する責任がある。この施設の完成で、生活環境や水環境が大きく改善される。」とあいさつしました。

今後も、生活環境と水環境の保全への改善に努め、揖斐川町の目指す「自然幸のまちいびがわ」の実現に向けて取り組んでいきます。



▲関係者によるテープカット

### 新入生応援で地域貢献活動

4月4日(水)、揖斐川町役場公室で西濃建設株式会社から小中学校への入学祝い品の贈呈式が行われました。

これは、西濃建設株式会社が昨年から始めた地域貢献活動の一環で、揖斐郡内の小中学校に入学する新1年生をお祝いするために行っています。

贈呈式で、西濃建設株式会社の笹田哲夫代表取締役社長から富田町長にお祝い品と目録が手渡されました。

お祝い品として、小学1年生には鉛筆1ダースと定規1本、中学1年生にはシャープペンシル1本が贈られました。



▲お祝い品と目録の贈呈

### 植樹・清掃奉仕活動

4月4日(水)、揖斐川町谷汲徳積地内で揖斐川ライオンズクラブと美濃大野ライオンズクラブが合同で桜の植樹と清掃奉仕活動を行いました。

この活動は、ライオンズクラブ国際協会三三四一B地区記念事業として、両クラブが河津桜30本を譲り受けて実施するもので、門前地内の中谷川沿い約200mには29本の植栽と周辺の清掃活動、春日小学校には河津桜1本を植栽しました。

参加者は「数年後には、大きく育つたこの桜を観るために、多くの方が足を運んでいただけるように。」との思いを込めて、丁寧に植栽をしました。



▲参加者全員で植栽後の記念撮影

### 揖斐川町区長会研修会で町政功労者を表彰

4月7日(土)、地域交流センターはなももで、平成30年度揖斐川町区長会研修会が開催されました。

町政功労者表彰では、長年にわたり各分野でご尽力された森本節子さん(教育功労)、藤原修身さん(林業功労)、折戸孝行さん(その他功労 教育・福祉)、増田隆司さん(その他功労 交通安全)の4名が表彰されたほか、長年区長として町内自治の振興、発展に貢献された高橋典男さん、田中正敏さん

に感謝状が贈呈されました。研修会では、富田町長から平成30年度のまちづくり、主要事業等の説明がありました。また、岐阜大学工学部シニア教授の高木朗義氏を招き、「地区としての防災・減災」をテーマとした講演が行われました。



▲岐阜大学高木朗義氏による講演

名倉清流発電所通電開始

4月9日(月)、揖斐川町名倉地内で名倉清流発電所の通電式が行われました。

今回完成した発電所は、「県単小水力発電施設整備事業」により、農業用水を活用して整備された小水力発電施設です。

この発電所は、一般家庭200世帯分の年間使用電力量に相当する電力を発電し、年間約400トンの二酸化炭素削減効果があります。

通電式では、関係者によるテープカットの後、施設見学を行い、完成を祝いました。

なお、この発電による売電益は、土地改良施設の維持管理、農村振興施設の電気代等に活用します。



▲関係者によるテープカット

シルバーセーフティアドバイザー 委嘱式

4月10日(火)、地域交流センターはなももで揖斐警察署が主催するシルバーセーフティアドバイザー委嘱式が行われました。

同アドバイザーは、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域で交通事故防止を呼び掛ける活動などをします。委嘱を受けた皆さんは次のとおりです。

- 橋本 満さん(小島)
- 高橋 正昭さん(清水)
- 林 ほなみさん(北方)
- 松永 直樹さん(谷汲深坂)
- 岩崎 浩さん(谷汲有鳥)
- 加藤 内記さん(春日香六)
- 藤田 宮子さん(春日六合)
- 杉山 正城さん(榎原)
- 小倉 照勇さん(日坂)
- 中野 郁子さん(西横山)
- 須網 政人さん(坂内川上)



▲委嘱状を代表受領する橋本満さん

平成30年度揖斐川地区リサイクル推進員研修会

4月15日(日)、いびがわエコドームで平成30年度揖斐川地区リサイクル推進員研修会が開催されました。

この研修会は、各地区の区長さんや町から委嘱されたりリサイクル推進員が、ごみ減量化と分別に対する地域のリーダーとして活躍されることを目的に毎年開催しており、分別研修の受講と分別作業の実践を行いました。

今年度、揖斐川町ではチャレンジ「家庭可燃ごみ10%減量化作戦」を掲げており、目標達成に向けてのキックオフの場となりました。



▲分別作業の実践を行うリサイクル推進員

揖斐川町産「さざれ石」を首相官邸へ寄贈

4月16日(月)、国歌「君が代」に詠まれている「さざれ石」の寄贈式が東京の首相官邸で行われました。町長、町議会議員、春日地域住民、県関係者など合わせて総勢28人で訪問し、さざれ石と町のPRを併せて行いました。

贈ったさざれ石は縦、横、高さが約40cmで、重さが約50kg。町長から安倍首相に「国歌に詠まれているさざれ石」について書かれた櫛の盾とともにさざれ石が寄贈されました。

安倍首相からは「日本の平和と繁栄が、千代に八千代にこけのむすまで続くように皆さんと力を合わせていきたい」とのお礼が述べられました。さざれ石は旧春日村時代から皇居や歴代の首相、著名な神社などに贈られています。



▲安倍首相にさざれ石を寄贈する町長

### 瑞宝双光章の受章

平成30年2月11日に亡くなられた高橋喜芳さん(北方)が、瑞宝双光章を受章され、富田町長よりご家族へ伝達が行われました。

高橋さんは、昭和45年4月に根尾村立樽見小学校の教諭として赴任されました。その後、春日中学校をはじめ郡内の小学校に勤務され、垂井町立宮代小学校の教頭、長瀬小学校の教頭、揖斐郡教育研修センターの指導主事を歴任し、多治見市立南姫小学校の校長に赴任しました。大野町立大野小学校で定年退職され、その後も、揖斐郡教育研修センター所長として、学校教育の充実に貢献され、地域においても北方地区の区長として貢献されました。

これらの生前の功績が認められ、今回の受章となりました。多大な功績に対し敬意を表しますと共に、心からご冥福をお祈りします。



▲ご家族への伝達

### イビデンの森で森林づくり活動

4月21日(土)、揖斐川町東横山地区の「イビデンの森」で森林づくり活動が行われました。

これは、県が推進する「企業との協働による森林づくり」の一環で、平成20年に締結したイビデン(株)、揖斐川町および県との森林づくり協定に基づく活動で、関係者による記念植樹や伐採見学などの森林整備が行われました。

また、森林整備後には地域交流事業として、イビデングループ関係者と地域住民などが、箸づくり、森のようちえん体験や鬼まんじゅうづくりなどを行い、森林づくりを通じてお互いに交流を深めていきました。



▲記念植樹の様子

### 幼稚園、小学校お茶摘み体験

5月1日(火)、揖斐川町桂の桂茶生産組合の茶園で、児童と園児によるお茶摘み体験が行われました。

これは、地場産業に興味を持ってもらい、郷土の特産品について学習してもらうために、毎年春の一番茶の時期に行っています。

今回茶摘み体験をしたのは、揖斐小学校、大和小学校の児童と、いび幼稚園、やまと・きたがた幼稚園の園児約100人です。

お茶摘みのあとには工場を見学し、組合の職員からいび茶がどのように生産されるのか説明を受けました。



▲楽しく茶摘み体験をする園児

### スポーツ優秀者 激励会

大会に出場される方の激励会が開催されました。

TASF THE DANCE  
WORLDS2018  
(アメリカ・フロリダ州)

★ジャズ部門  
★ヒップホップ部門

大垣女子短期大学  
1年 高橋 梓さん(西津汲)

